

仲間の助け

カラス班 沼津第1団BS隊 村上 晴香

今回のジャンボリーでは、他の班に助けてもらったおかげで終わることができました。私達の班は何事も仕事をするのがおそく、約束の時間を過ぎてしまうことが多かったです。そんなときに、助けてくれたのが他の班でした。洗い物を手伝ってくれたり、声をかけてくれたりしました。私は、仲間の友情をかんじました。一方で、助けてもらってばかりで申しわけないと思いました。なぜ、私達の班がおそいのかが分かりました。おおかみ班を見ると、全員が動いていて仕事をいやがらずにしているところです。最後は私達が助けてもらうのではなく、私達が他の班を助けたいと思いました。私達の班に足りないのは、的確な判断、時間の意識だと思います。班長だけにたよらず、いつまでもノロノロしないことが大事だと思います。

これから、いろんなキャンプがあると思います。そのときには、めいわくをかけず助けられる人ではなく、助ける人でいたいです。